

各位

株式会社池田泉州銀行
池田泉州キャピタル株式会社

～あなたの健康が手のひらに～
イノベーションファンド25による
株式会社イムノセンスへの投資実行について



池田泉州キャピタル株式会社（代表取締役 田中 耕）が運営し、株式会社池田泉州銀行（頭取 CEO 鶴川 淳）等が出資する「関西イノベーションネットワーク投資事業有限責任組合（愛称：イノベーションファンド25）」は、2023年2月1日付で、株式会社イムノセンス（本社：大阪府中央区、代表取締役 杉原 宏和）に対し、投資を実行いたしました。

イノベーションファンド25は、地域社会における新事業の創出等産業振興に寄与し、大阪・関西の地域経済の発展や雇用の確保に繋がると期待され、2025年大阪・関西万博が目指す「SDGsが達成される社会」や「Society5.0の実現」に貢献する技術・ビジネスモデルを持った企業を投資対象としております。

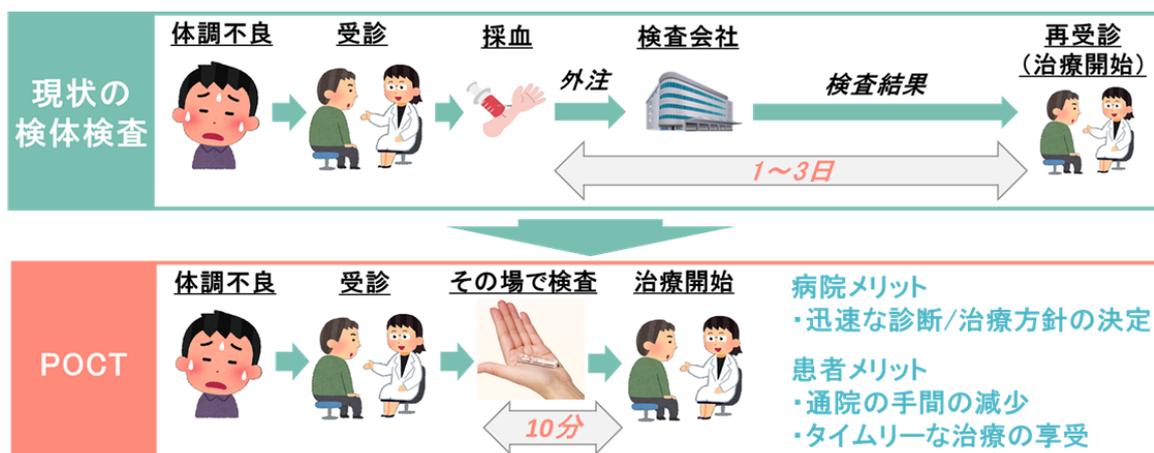
株式会社イムノセンスは、免疫反応と電気化学反応を組み合わせた独自の免疫測定技術を活用して、POCT※向け免疫センサデバイスの開発に取り組む大阪大学発のスタートアップ企業です。同社の開発する免疫センサ「GLEIA」は手のひらサイズの測定器と使い捨て小型センサを組み合わせ、小型で簡便なものでありながら、大型の測定機器と同等の感度を有しています。診療所などの臨床現場において、その場で迅速に、心不全や塞栓症など様々な疾患の検査が可能となります。

（※ Point of Care Testing の略。診療所、在宅、遠隔地、災害現場など様々な医療現場で行われるリアルタイム検査の総称）

同社製品の実用化は、医療の質と効率性の向上に役立つものであり、生活の質（QOL）の向上を通じ、人々の幸福に貢献します。当行グループは、SDGs③「全ての人に健康と福祉を」、⑨「産業と技術革新の基盤をつくろう」、⑩「人や国の不平等をなくそう」の実現に貢献する株式会社イムノセンスを、イノベーションファンド25を通じ成長支援いたします。

【イムノセンスの目指す世界】

- ✓ 独自技術「GLEIA」によるPOCT（その場検査）で 医療の効率化・質の向上に貢献
- ✓ 「いつでも・だれでも・どこでも」医療グレードの迅速検査を



出典：株式会社イムノセンス 提供資料

【投資先概要】

社名	株式会社イムノセンス
代表取締役	杉原 宏和（すぎはら ひろかず）
所在地	本社：大阪府大阪市中央区備後町4丁目1番3号 事業所：大阪府吹田市山田丘2-1大阪大学フォトニクスセンター319号
設立	2018年1月
事業内容	「GLEIA法」という免疫反応と電気化学反応を組み合わせた独自の免疫測定技術を活用した、POCT（※）向け免疫センサデバイスの開発 ※ Point of Care Testing の略。診療所、在宅、遠隔地、災害現場など様々な医療現場で行われるリアルタイム検査の総称
URL	https://immunosens.com/
Vision	イムノセンスから「いつでも・だれでも・どこでも医療グレードの迅速検査」を。
SDGsの実現	  
備考	J-Startup KANSAI 選定企業

【ファンド概要】

名称	関西イノベーションネットワーク投資事業有限責任組合 （愛称：イノベーションファンド25）
ファンド総額	設立時 12 億円
有限責任組合員(LP) ※順不同	株式会社池田泉州銀行、岩谷ベンチャーキャピタル合同会社（岩谷産業株式会社より地位承継）、エネサーブ株式会社、大阪信用保証協会、塩野義製薬株式会社、ダイキン工業株式会社、日本生命保険相互会社、阪急阪神ホールディングス株式会社、株式会社ゆうちょ銀行、ロート製薬株式会社
無限責任組合員(GP)	池田泉州キャピタル株式会社
投資対象	大阪・関西万博が目指す「SDGsが達成される社会」「Society5.0の実現」に貢献する技術・ビジネスモデルを持った企業
投資形態	普通株式、優先出資 等
設立日	2019年9月20日
存続期間	10年（最大2年まで延長可）

当行はプレスリリースに関連するSDGs 17のゴールのアイコンを掲載しております。

